

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BX094／初級マクロ経済学2 (Introductory Macroeconomics 2)		
担当者名 (Instructor)	二宮 健史郎(NINOMIYA KENSHIRO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX2110	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	経済学科2～4年次A～G, P組 経済政策学科2～4年次		

授業の目標 (Course Objectives)

現代社会を取り巻くさまざまな経済問題とかわらせながら、現代マクロ経済学の基礎を学ぶ。マクロ経済学1を基礎に、現代的なマクロ経済学の展開と論争を追い、現代のさまざまな課題にたいしてマクロ経済学がどのように応えていこうとしているのかを理解することが目標である。

With a foundation of the course of Macroeconomics 1, the objective of this course is to understand the developments in macroeconomics and to understand how macroeconomics is applied to various modern macroeconomic problems.

授業の内容 (Course Contents)

マクロ経済学1の理解の上で、マクロ経済学2では、為替、貿易、資金の国際移動などといったオープンマクロ経済学、インフレ・デフレと失業、景気変動など現代的課題への対処、マクロ経済学の最近の展開等を扱う。また、有用でありながら取り上げられることの少ない産業連関分析についても取り上げる。

Based on the understanding of the course of Macroeconomics 1, in Macroeconomics 2 students learn the developments of open macroeconomics including the topics such as currency exchange, trade, and the international flow of funds. Students also learn about modern macroeconomic problems such as inflation, deflation, unemployment, and economic fluctuations. In addition, input-output analysis, which is useful but rarely picked up recently, will be addressed.

授業計画 (Course Schedule)

1. ガイダンスとイントロダクション
2. IS-LM 分析1
3. IS-LM 分析2
4. オープンエコノミーのマクロ経済学1
5. オープンエコノミーのマクロ経済学2
6. 所得と物価水準の決まり方1
7. 所得と物価水準の決まり方2
8. インフレとデフレ1
9. インフレとデフレ2
10. より進んだ消費と投資の理論1
11. より進んだ消費と投資の理論2
12. 景気変動と経済成長
13. 産業連関分析1
14. 産業連関分析2

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

マクロ経済学は理論を扱うため、知識の積み重ねが重要である。毎回の講義の内容を十分な時間をかけて復習し理解していなければ、次回以降の講義が理解できなくなる。予習は、テキストの該当箇所を何度も読んでおくこと。その他の参考文献は、ガイダンスや講義中に指示する。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(80%) / リアクションペーパーなど(20%)

テキスト (Textbooks)

1. 中谷巖、2007、『マクロ経済学入門 第2版(日経文庫)』、日本経済新聞社 (ISBN:978-4-532-11030-7)

参考文献 (Readings)

その他 (HP 等) (Others(e.g.HP))

